

京都第一赤十字病院で肺切除術を受けられた患者様・ご家族の皆様へ

## 肺切除後の気漏に対して行った胸膜癒着術の有効性と安全性の検討

京都第一赤十字病院呼吸器外科では、肺手術の後に生じた肺からの空気漏れ（気漏）に対して行った処置に関する研究「肺切除後の気漏に対して行った胸膜癒着術の有効性と安全性の検討」を実施いたします。そのため、過去に京都第一赤十字病院で肺手術を受けられた患者様の診療録を過去にさかのぼって調査させていただきたいと考えています。

実施にあたり京都第一赤十字病院医学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。

### 研究の目的

肺切除後の空気漏れが多い場合や長く続く場合に、手術以外の治療法として薬物を用いた胸膜癒着術が行われることがあります。胸膜癒着術に使用する薬剤として、鉍物（タルク）、溶連菌製剤（OK-432）、抗菌薬（ミノサイクリン）、50%ブドウ糖液、フィブリン糊や自己血などがありますが、本研究では薬剤ごとの有効性と安全性を明らかにすることを目的としています。

### 研究の方法

#### ・対象となる方について

2010（平成22）年1月1日から2024（令和6）年12月31日までの間に、京都第一赤十字病院呼吸器外科で肺手術を受けられた患者様が対象となります。

**研究期間：** 医学倫理審査委員会承認後から2026（令和8）年3月31日

#### ・方法

京都第一赤十字病院呼吸器外科で肺手術を受けられた患者様が対象となります。本研究は過去の記録を用いる研究ですので、参加者となる皆様に新たな検査負担や危険が及ぶことはありません。記録から得られたさまざまな所見と手術後の経過を解析します。

## ・研究に用いる資料・情報について

情報：病歴、検査歴、手術歴、ドレーン所見、術後合併症等の術後経過、病理所見 等

## ・利用又は提供を開始する予定日

利用開始日：倫理審査委員会承認日

## ・個人情報の取扱について

手術時に情報はすべて匿名化され、他の情報と照合しない限り特定の個人を識別することができないように情報を加工されるため、個人が特定されることはありません。また、研究発表が公表される場合でも個人が特定されることはありません。

## ・研究組織

研究責任者： 京都府立医科大学呼吸器外科学 教授 井上 匡美

研究担当者： 京都府立医科大学呼吸器外科学 教授 井上 匡美

京都府立医科大学呼吸器外科学 准教授 下村 雅律

京都府立医科大学呼吸器外科学 助教 岡田 悟

京都府立医科大学呼吸器外科学 助教 古谷 竜男

共同研究機関： 京都第一赤十字病院呼吸器外科 部長 上島 康生

市立福知山市民病院呼吸器外科 医長 池部 智之

市立福知山市民病院呼吸器外科 医師 徳田 涼介

## お問い合わせ先

ご希望があれば、個人情報の保護及び本研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究計画及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができます。その場合は、下記連絡先までご連絡をお願いします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2026（令和8）年3月31日までに下記連絡先までご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。なお上記までに申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

連絡先

京都第一赤十字病院呼吸器外科

職・氏名 医長・石原駿太 電話：075-561-1121（代表）

E-mail: [shunta-ishihara@kyoto1.jrc.or.jp](mailto:shunta-ishihara@kyoto1.jrc.or.jp)

受付時間 月曜～金曜 9：00～16：00（土日・祝日を除く）